

令和5年度 予算のあらまし

令和5年2月



東京二十三区清掃一部事務組合

目 次

1	予 算 編 成 の 基 本 方 針	1
2	歳 入 歳 出 予 算 の 概 要	2
3	主 な 特 色 項 目	4
4	施 設 整 備 事 業 一 覧	11
5	財政調整基金と組合債の状況	12
6	特 別 区 分 担 金 納 付 額 等	13

注 記

グラフ・表中等の年度表記については、「H○年度」は「平成○年度」、「R○年度」は「令和○年度」を表します。

1 予算編成の基本方針

令和5年度予算は、「安全で安定的な中間処理」を持続可能なものとするために、燃料費・光熱水費の高騰に加え、鋼材等資材価格の上昇や物流の遅延による影響等、社会経済状況の変化を的確に捉え、中長期的な視点をもった財政運営を行っていくとの観点から、以下の8つの方針に基づき編成しました。

《編成方針》

- 1 各部（局、室）長、会計管理者においては、各々予算編成方針を明確に定め、所管内に周知すること。また、計画事業の見直しを含め、最大限経費の抑制、削減に努め、厳しく部（局、室）内査定を行うこと。
- 2 「経常的経費」については、義務的経費や一部の固定的な費用を除き、原則として、前年度予算額を下回る予算要求とすること。
事業の必要性を見極め、実施時期を含めて再検討し、真に必要な経費のみを計上するとともに、創意工夫を発揮し、徹底的な無駄の排除を行うこと。
- 3 「臨時的経費」のうち、新規事業及び政策的レベルアップ事業の要求については、事業の緊急性や必要性などを十分検証するとともに、既存事業の見直し（廃止）・再構築を前提に財源を捻出すること。
- 4 過去の決算状況を分析し、実績を踏まえた見積りを行うこと。
全ての契約行為の予算の見積りに当たっては、直近の契約実績を反映させ、より実績に近い金額で予算要求すること。
- 5 職員定数については、別に定める「令和5年度組織及び職員定数について」に基づき適正化を図り、より効率的かつ効果的な執行体制を構築すること。
- 6 施設の建設、改築及び改修については、社会経済状況の変化による影響分析を行い仕様内容に反映させ、十分な精査を図ったうえで、建設コスト等の縮減に努めること。
- 7 複数の部課に関係する事業については、情報共有と調整の徹底により、効率的な要求とするよう留意すること。
- 8 歳入の見積りについては、国庫支出金に係る国の予算編成の動向等を注視し、確実に財源を確保すること。自主財源については、精緻な分析を行い、最大限の収入を見込むこと。

2 歳入歳出予算の概要

令和5年度の一般会計予算の総額は、853億7,000万円となり、対前年度△170億3,600万円、16.6%の減となりました。内訳は、3ページの表のとおりです。

歳入では、「分担金及び負担金」として特別区分担金が450億円、対前年度30億円、7.1%の増としました。特別区分担金の区別納付額等については、13ページに記載しています。

施設整備費に係る特定財源については、建替えに係る「循環型社会形成推進交付金」が△38億1,156万8千円、63.9%の減、「組合債」は△149億5,900万円、74.1%の減としました。

また、財源調整のため、「繰入金」として財政調整基金から51億6,300万円の繰入れを行いました。財政調整基金については、令和5年度末で175億3,100万円の残高見込みとなっています。

次に歳出では、清掃工場等の維持管理及び運営に要する経費である「清掃費」は60億9,901万9千円、13.7%の増としました。光熱水費や鋼材等資材価格の高騰の影響を反映したほか、「安全で安定的な中間処理」を持続可能なものとするため、最終処分量削減に向けた焼却灰の資源化量を増やし、定期補修工事等の事業経費を増額計上しました。

清掃工場の建設等に要する経費である「施設整備費」は、△237億7,342万9千円、57.0%の減としました。これは主に、目黒清掃工場建替工事や港清掃工場延命化工事、大田清掃工場第一工場再稼働工事の完了に伴う減によるものです。

職員費は、107億9,318万8千円で、対前年度3,363万3千円、0.3%の増としました。

組合債の償還等に要する経費である「公債費」は、44億5,271万3千円で、対前年度5億3,518万8千円、13.7%の増としました。これは、清掃工場の建替え等に伴う新たな元金償還が始まることなどによるものです。

< 令和5年度 一般会計予算 >

○ 歳入歳出予算		85,370,000 千円
○ 債務負担行為	34件	58,217,881 千円
○ 組合債	2件	5,228,000 千円

【歳入歳出予算】

歳 入

(単位：千円、%)

区 分		本年度		前年度		比較増（△）減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1	分 担 金 及 び 負 担 金	45,000,000	52.7	42,000,000	41.0	3,000,000	7.1
2	使 用 料 及 び 手 数 料	13,728,925	16.1	13,022,747	12.7	706,178	5.4
	うち廃棄物処理手数料	13,715,921	16.1	13,015,261	12.7	700,660	5.4
3	国 庫 支 出 金	2,154,480	2.5	8,589,493	8.4	△6,435,013	△74.9
	うち循環型社会形成推進交付金	2,153,224	2.5	5,964,792	5.8	△3,811,568	△63.9
4	財 産 収 入	15,784	0.0	10,430	0.0	5,354	51.3
5	寄 附 金	1,300	0.0	1,300	0.0	0	0.0
6	繰 入 金	5,163,000	6.1	7,974,000	7.8	△2,811,000	△35.3
7	繰 越 金	300,000	0.4	300,000	0.3	0	0.0
8	諸 収 入	13,778,511	16.1	10,321,030	10.1	3,457,481	33.5
9	組 合 債	5,228,000	6.1	20,187,000	19.7	△14,959,000	△74.1
歳 入 合 計		85,370,000	100.0	102,406,000	100.0	△17,036,000	△16.6

歳 出

(単位：千円、%)

区 分		本年度		前年度		比較増（△）減	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
1	議 会 費	12,602	0.0	9,954	0.0	2,648	26.6
2	総 務 費	1,314,744	1.5	1,248,974	1.2	65,770	5.3
3	清 掃 費	68,490,077	80.2	86,164,487	84.2	△17,674,410	△20.5
	清 掃 費	50,571,548	59.2	44,472,529	43.5	6,099,019	13.7
	施 設 整 備 費	17,918,529	21.0	41,691,958	40.7	△23,773,429	△57.0
4	職 員 費	10,793,188	12.7	10,759,555	10.5	33,633	0.3
	う ち 総 務 職 員 費	3,081,540	3.6	3,151,468	3.1	△69,928	△2.2
	う ち 清 掃 職 員 費	7,711,648	9.1	7,608,087	7.4	103,561	1.4
5	公 債 費	4,452,713	5.2	3,917,525	3.8	535,188	13.7
	う ち 組 合 債 元 利 償 還 金	4,452,706	5.2	3,917,519	3.8	535,187	13.7
6	諸 支 出 金	6,676	0.0	5,505	0.0	1,171	21.3
7	予 備 費	300,000	0.4	300,000	0.3	0	0.0
歳 出 合 計		85,370,000	100.0	102,406,000	100.0	△17,036,000	△16.6

3 主な特色項目

1 適正な維持・管理の継続

安全で安定的な
中間処理施設の運営

【定期点検補修工事等】

予算額 71億3,522万4千円



【蒸気タービンの開放点検(発電設備)】

＜目的・ねらい＞

清掃工場では、定期的に工場を停止し、労働安全衛生法や電気事業法により義務づけられた検査を行うとともに、計画的にごみ処理ができるように点検及び補修を行い、設備の性能を維持させるための工事を行う。

＜事業内容＞

清掃工場の安全・安定的な運営のため、焼却炉本体設備、ボイラ設備や発電設備等について、計画的に点検及び補修を行う。

【対象工場】全清掃工場

【基幹設備整備工事】

予算額 66億9,285万4千円

＜目的・ねらい＞

清掃工場の稼働年数や焼却負荷による劣化状況に応じて、プラントの各設備の大規模更新を行う。

整備工事の一例：ボイラの整備

＜事業内容＞

経年劣化等で減肉が進行しているボイラ水管更新等の整備を実施する。

※減肉とは、焼却炉内部で発生した排ガスの影響により、ボイラ水管の厚みが薄くなる現象。

【対象工場】有明、墨田、豊島、足立、板橋、品川清掃工場

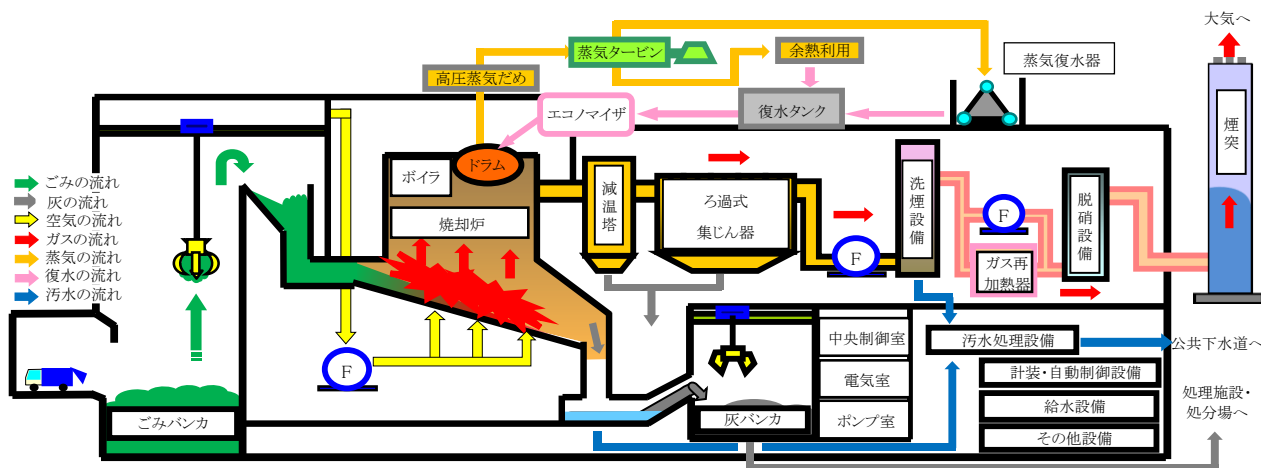
【事業経費】14億8,853万2千円



【既設のボイラ水管】



【整備後のボイラ水管】



【清掃工場のしくみ】

2 計画的な施設整備の推進

計画的な清掃工場等の整備

【清掃工場の建替え及び不燃・粗大ごみ処理施設の整備】 予算額 138億3,560万7千円

＜目的・ねらい＞

一般廃棄物処理基本計画に基づき、可燃ごみの安定的な全量焼却体制の維持と最終処分量の削減を図るため、老朽化した既設清掃工場の建替え及び中防不燃・粗大ごみ処理施設の整備を計画的に進めている。

①江戸川清掃工場

＜事業内容＞

- ・令和5年度は工事4年目
- ・前年度から引き続き解体工事を実施するほか、建設工事に着手する。併せて、工事監理、環境影響評価事後調査を実施する。

【事業経費】

61億7,109万5千円

(施設整備期間経費見込 572億8,000万円)

【施設整備期間】

令和2年度～令和9年度(8年間)

【規模(炉・基数)/発電設備】

300 t/日・炉×2基

蒸気タービン発電機(21,030kW)



【工事状況写真】(令和4年10月)

工場の特徴

「水とみどりに調和した、地域にやさしい清掃工場」を基本コンセプトとし、旧江戸川沿いへの桜並木配置や接道部の緑化充実により、みどり豊かな住環境の形成に努める。明るいアースカラーで周辺への圧迫感軽減を図るとともに、曲線屋根とすることでやさしい印象の外観デザインとし、周辺環境との調和を図る。

②北清掃工場



【完成予想図】

＜事業内容＞

- ・令和5年度は工事2年目
- ・前年度から引き続き実施設計を行うほか、解体工事に着手する。

【事業経費】

69億6,168万円

(施設整備期間経費見込 629億7,000万円)

【施設整備期間】

令和4年度～令和11年度(8年間)

【規模(炉・基数)】

300 t/日・炉×2基

工場の特徴

「環境に配慮し、地域に親しまれる清掃工場」を基本コンセプトとし、「緑地との調和」、「環境との共生」、「エネルギーの有効利用」、「施設の強靱化」を基本方針に掲げ、地域に親しまれる清掃工場を目指していく。

2 計画的な施設整備の推進

計画的な清掃工場等の整備

③中防不燃・粗大ごみ処理施設

<事業内容>

- ・令和5年度は工事1年目
- ・契約後実施設計に入り、年度内に解体工事に着手する。

【事業経費】

7億283万2千円

(施設整備期間経費見込 453億9,000万円)

【施設整備期間】

令和5年度～令和9年度(5年間)

【規模】

420 t / 6時間 (210 t / 6時間×2系統)



【完成予想図】

施設の特徴

「周辺環境に配慮し、循環型社会の形成に貢献する施設」を基本コンセプトとし、「効率的で安定したごみ処理」、「最終処分量の削減」、「環境保全への配慮」を基本方針に掲げ、地域と共生する施設を目指していく。

【清掃工場の延命化】

予算額 3億8,410万円

<目的・ねらい>

一般廃棄物処理基本計画に基づき、定期点検補修工事期間では実施できない設備及び建築設備について更新及び改修工事を行い、清掃工場の延命化を図る。

千歳清掃工場



【工場全景写真】

<事業内容>

- ・平成8年3月のしゅん工から25年以上が経過
- ・令和5年度は事業2年目
- ・令和17年頃(計画耐用年数:40年)まで安定的に稼働させるため、令和5年度は主にプラント設備更新、クレーン改修及び電気設備更新等の延命化工事を実施する。

【事業経費】

3億8,410万円

(施設整備期間経費見込 71億8,604万9千円)

【施設整備期間】

令和5年度～令和6年度(2年間)

【規模(炉・基数)】

600 t / 日・炉×1基

スケジュール

前年度の機器製作等が続いて、令和5年度から工事を開始し、令和6年度までに整備を完了させることで、23区から発生するごみの安定的な全量処理体制を確保する。

3 焼却灰の資源化

最終処分量の削減

【焼却灰の資源化】

予算額 47億191万7千円

<目的・ねらい>

最終処分量の削減を図り、循環型社会づくりを進めるため、ごみ焼却灰を資源化する。

<事業内容>

最終処分場の延命化を目的とし、最終処分量の削減を図るため、91,000tの資源化を計画する。そのうち67,100tは、主灰のセメント原料化、焼却灰の徐冷スラグ化及び焼却灰の焼成砂化を本格実施する。残り23,900tは、新たな搬入先及び輸送経路について実証確認を行う。

◆本格実施 : 67,100 t

（鉄道 : 46,425 t
船舶 : 8,925 t
車両 : 11,750 t）

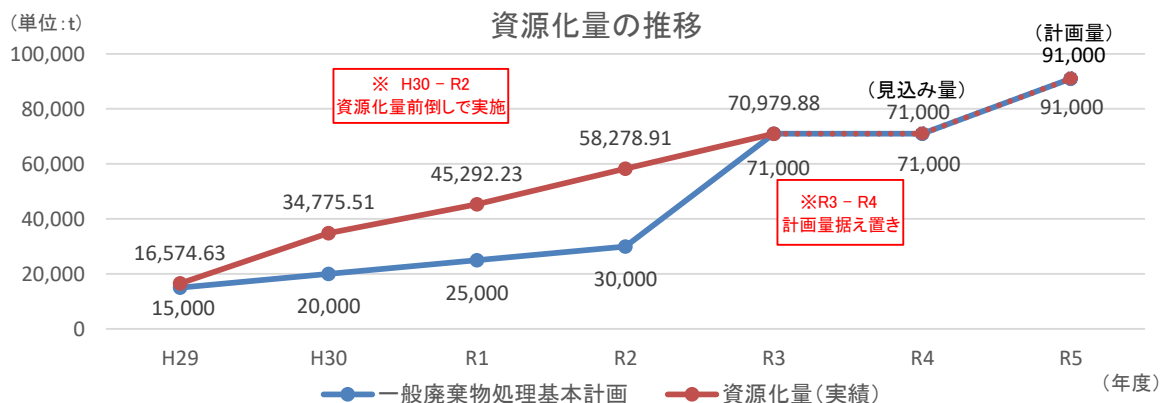
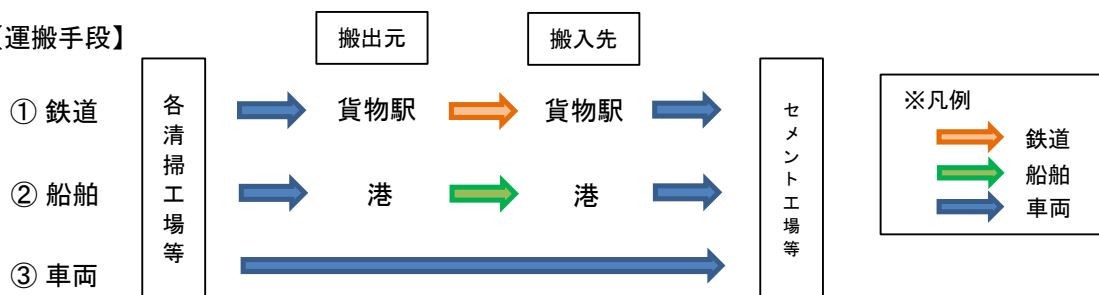
◆実証確認 : 23,900 t

（鉄道 : 5,400 t
船舶 : 1,500 t
車両 : 17,000 t）

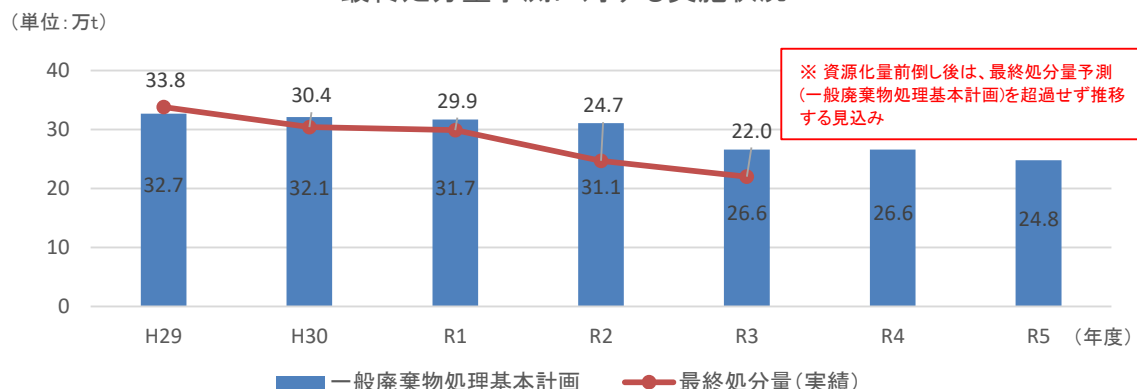


【焼却灰搬出の様子】

【運搬手段】



最終処分量予測に対する実施状況



4 効果的な電力売却

熱エネルギーの有効利用

【電力エネルギー売払収入】

予算額 129億7,457万1千円

<目的・ねらい>

ごみ焼却により発生する熱エネルギーを発電や熱供給に有効利用し、それらを清掃工場内で利用して、余った電気を電気事業者へ売却することにより、収入を確保する。

<事業内容>

工場建替え時に発電効率を高め、エネルギー収入の確保に努めるとともに、東京エコサービス株式会社などの電気事業者を通じた電力売却により、収益の増加を図る。

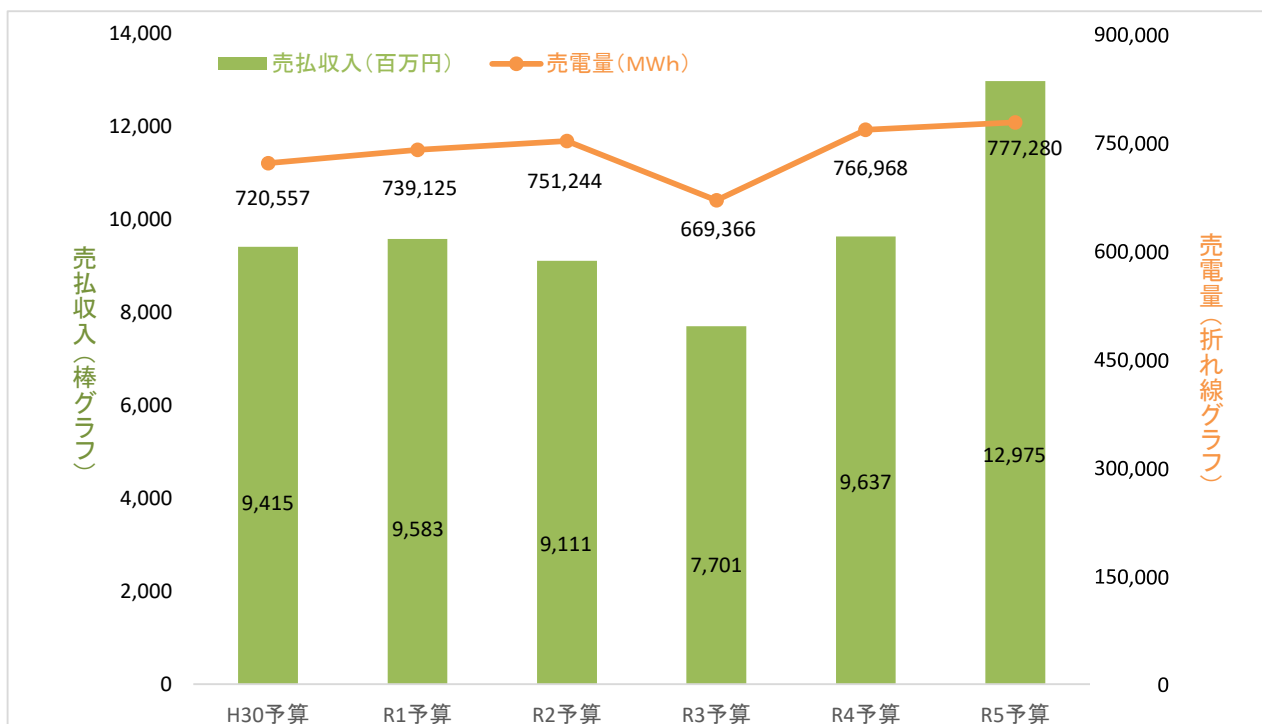
《収入内訳》

余剰電力の売払収入 129億7,457万1千円(対前年度33億3,663万8千円の増)

主な増理由

- ・ 売電単価の上昇
(売電単価(税込) R4 12.57円/kWh → R5 16.69円/kWh) 約32億200万円増
- ・ 単位売電量の増加
(単位売電量 R4 281kWh/t → R5 282kWh/t) 約8,500万円増
- ・ 自己託送送電電力量の減少
(送電電力量 R4 3,200万kWh → R5 2,900万kWh) 約5,000万円増

《売払収入額と売電量の推移(予算ベース)》



4 効果的な電力売却

熱エネルギーの有効利用

《自己託送制度の活用拡大～電力の地産地消～》

<目的・ねらい>

清掃工場で発電した電力を、清掃一組の別の施設で使用することで「電力の地産地消」が可能となる。この制度の活用により、二酸化炭素（CO₂）排出量及び電気料金が削減され、環境面及び財政面への効果を図る。

<事業内容>

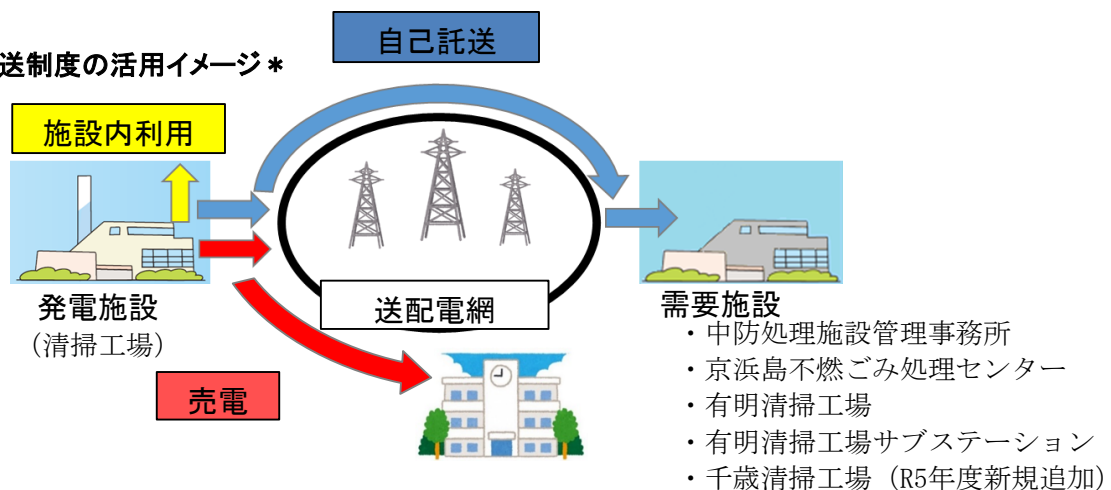
需要施設数を4施設から5施設に増やし、電力供給形態は全量供給型を継続して、CO₂排出量の抑制、電気料金の削減を行う。

～自己託送制度による財政効果～

	R5年度	R4年度	対 前 年
a 売電収入減額	約4.6億円	約3.1億円	約1.5億円
b 買電支出減額	約9.6億円	約4.2億円	約5.4億円
財政効果※	約5.0億円	約1.1億円	約3.9億円

※財政効果 = b - a

* 自己託送制度の活用イメージ *



23区小学校等へ小売電気事業者を介して供給

《非化石証書を活用した余剰電力の売却》

<目的・ねらい>

清掃一組が売却する余剰電力は、電力本来の価値に加え、温対法上におけるCO₂排出係数が低いエネルギーとしての非化石価値を有している。その非化石価値を証明する「非化石証書」を発行し、電気価値と非化石価値の双方を売却することで安定的な売電収入の維持を見込む。

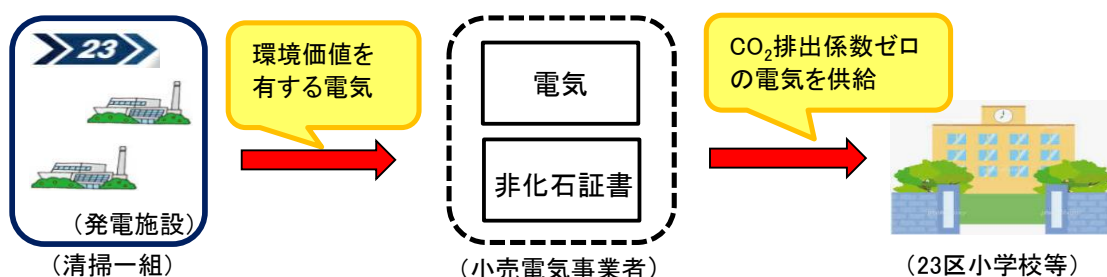
※温対法：地球温暖化対策の推進に関する法律

<事業内容>

清掃工場で発電した電気は環境価値を有しており、非化石証書を含め小売電気事業者へ売却している。

非化石証書を購入した小売電気事業者はCO₂排出係数ゼロの電気を23区小学校等に供給している。

* 電気・非化石証書取引イメージ *



5 清掃事業国際協力の推進

清掃事業国際協力の推進

【清掃事業国際協力】

予算額 994万3千円

①海外諸都市への技術的助言

＜目的・ねらい＞

23区とともに、環境省等が進める海外諸都市への支援事業に継続的に参加し、現地行政担当者等に対して、ごみの分別・収集や、清掃工場の建設・運営に関する知見を伝え、環境対策等を助言していく。

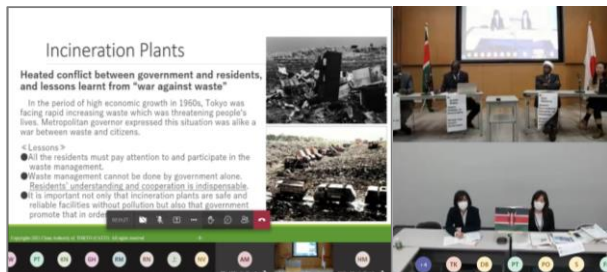
＜事業内容＞

- ・事業実施可能性調査（FS）等への参加
- ・オンラインによる技術的助言
- ・国等の要請に基づいた国際会議への職員の派遣

【事業経費】

605万2千円

～グローバルな貢献と 地域のアクションを結ぶ～



【オンラインによる技術的助言の様子】(令和4年度)

②海外人材の育成支援

＜目的・ねらい＞

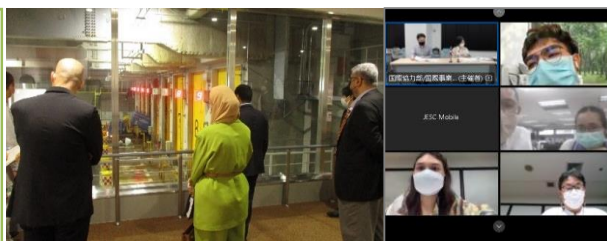
廃棄物問題の根本的な解決には、海外人材の育成が不可欠となっている。国や関係機関からの研修生の受入れの要請等に対し、23区とともに、効果的な学習の機会を提供していく。

＜事業内容＞

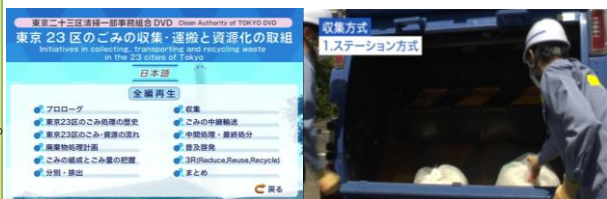
- ・海外人材育成支援に係る映像資料の作成
※新型コロナウイルス感染症拡大以降、オンライン形式での研修が主流となった。海外諸都市からは、公害防止・環境対策について、工場設備のみならず、環境モニタリングや住民コミュニケーションの説明を求められることも多いことから、研修生の理解を深めるための映像資料を作成する。
- ・研修資料の作成

【事業経費】

259万1千円



【研修生受入れの様子(清掃工場及びオンライン研修)】
(令和4年度)



【海外人材育成支援に係る映像資料(抜粋)】
(令和4年度)



【区主催環境イベント出展の様子】(令和4年7月)



【区民向け講演会の様子】(令和4年11月)

③パートナーシップの推進

＜目的・ねらい＞

国際貢献を区民理解や関係機関とのパートナーシップの構築、人材育成につなげ、さらに質の高い持続可能な国際協力事業を推進していく。

＜事業内容＞

- ・23区イベント事業への出展、環境等に関する講演会や事業紹介パンフレットの配布等による国際協力事業に係る区民向け広報の充実
- ・清掃事業国際協力検討委員会等による関係機関との連携
- ・清掃事業国際協力に係る職員向け勉強会の実施やインターナショナル・ジャーナル(情報紙)の発行等による職員の人材育成

【事業経費】

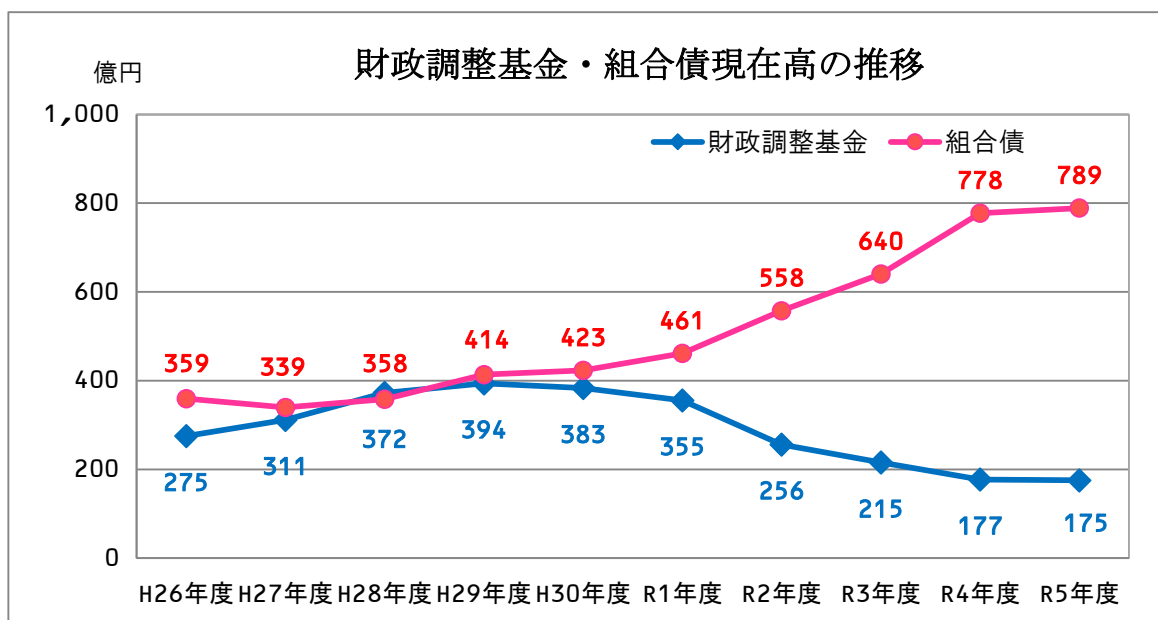
92万5千円

4 施設整備事業一覧

(単位：千円)

区 分		整 備 内 容	事 業 費
清掃工場の建設		一般廃棄物処理基本計画に基づく清掃工場の建替工事等	13,292,268
	渋谷清掃工場	未買収用地の取得等	23,835
	目黒清掃工場	環境影響評価事後調査委託	32,608
	江戸川清掃工場	建替工事等	6,171,095
	北清掃工場	建替工事等	6,961,680
	世田谷清掃工場	建替事業環境影響評価書作成委託	103,050
清掃工場の延命化		一般廃棄物処理基本計画に基づく清掃工場の延命化工事等	547,934
	千歳清掃工場	電気設備更新工事等	384,100
	新江東清掃工場	接続検討申込みに伴う調査委託	220
	渋谷清掃工場	プラント設備詳細点検委託等	163,614
清掃工場の施設整備		機能の維持、向上を図るための既設清掃工場の改修工事等	1,845,034
	公害監視設備整備	板橋、多摩川清掃工場等	220,574
	建築設備等整備	品川、千歳清掃工場等	868,435
	その他設備整備	有明、葛飾清掃工場等	756,025
破碎ごみ処理施設の整備		破碎ごみ処理施設の解体工事等	1,526,611
	破碎ごみ処理施設	解体工事等	1,526,611
中防不燃・粗大ごみ処理施設の整備		一般廃棄物処理基本計画に基づく不燃・粗大ごみ処理施設の整備	702,832
	中防不燃・粗大ごみ処理施設	整備工事等	702,832
事務費			3,850

5 財政調整基金と組合債の状況



(単位: 百万円)

財政調整基金	年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	繰 入 額	10,390	3,000	1,866	4,898	7,300
	積 立 額	13,189	6,634	7,972	7,057	6,230
	年度末現在高	27,491	31,125	37,231	39,390	38,320
	年 度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	繰 入 額	8,773	10,959	10,217	9,372	5,163
	積 立 額	6,001	1,030	6,124	5,540	5,000
	年度末現在高	35,548	25,619	21,526	17,694	17,531

組 合 債	年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	起 債 額	6,926	3,978	5,098	8,357	4,298
	償 還 元 金	7,305	5,950	3,226	2,798	3,354
	償 還 利 子	437	377	305	269	267
	年度末現在高	35,915	33,943	35,815	41,374	42,318
	年 度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	起 債 額	7,401	13,494	12,162	17,387	5,228
	償 還 元 金	3,597	3,849	3,880	3,684	4,089
	償 還 利 子	233	197	190	219	364
	年度末現在高	46,122	55,767	64,049	77,752	78,891

注1) R3年度までは決算額、R4年度は最終補正予算額、R5年度は当初予算額

ただし、R5年度の基金積立額は見込み額。

注2) 計数は、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数整理をしていないため、合計額など一致しない場合があります。

6 特別区分担金納付額等

当初額算定

【23区ごみ量実績】 (A)	2,532,429.25 t	【区収集ごみ量相当分担金】	
令和3年度 区収集ごみ量23区計	1,767,310.08 t	(G) = (D) × (B)	40,730,643千円
区収集ごみ量割合 (B)	69.787%	【持込ごみ量相当分担金基礎額】	
令和3年度 持込ごみ量23区計	765,119.17 t	(H) = (D) × (C)	17,633,584千円
持込ごみ量割合 (C)	30.213%	【持込ごみ量相当分担金】	
【分担金算出基礎額】 (D)	58,364,227千円	(I) = (H) - (F)	4,269,357千円
令和5年度 分担金23区計(E)【予算額】	45,000,000千円		
令和5年度 手数料収入計 (F)【予算額】	13,364,227千円		
【区別持込ごみ量】	765,069.28 t		

(単位：千円)

区分 区名	本来の分担金									清掃負担の公平	負担の公平調整後
	区収集ごみ量相当分			持込ごみ量相当分			分担金納付額			各 区 の 負担の調整額	令 和 5 年 度 区 別 分 担 金 実 納 付 額
	区収集ごみ量 (トン)	割合	区収集相当分 当 初 額	持込ごみ量 (トン)	割合	持込相当分 当 初 額	令和5年度 区別分担金 当 初 額 計	令和3年度 区別分担金 清 算 額	令和5年度 区別分担金 納 付 額		
	a	b	c = (G×b)	d	e	f = (I×e)	g = (c+f)	h	i = (g+h)	j	k = i + j
千代田	15,282.91	0.865%	352,320	45,758.95	5.981%	255,350	607,670	△ 181,912	425,758	26,229	451,987
中 央	34,549.01	1.955%	796,284	45,225.65	5.911%	252,362	1,048,646	△ 157,119	891,527	△ 11,091	880,436
港	52,674.37	2.980%	1,213,773	66,982.10	8.755%	373,782	1,587,555	△ 236,933	1,350,622	△ 14,431	1,336,191
新 宿	68,761.59	3.891%	1,584,829	57,084.62	7.461%	318,537	1,903,366	△ 148,866	1,754,500	53,567	1,808,067
文 京	43,345.46	2.452%	998,715	16,845.03	2.202%	94,011	1,092,726	11,435	1,104,161	25,343	1,129,504
台 東	40,734.83	2.305%	938,841	25,284.92	3.305%	141,102	1,079,943	△ 58,908	1,021,035	28,104	1,049,139
墨 田	53,954.32	3.053%	1,243,507	17,933.87	2.344%	100,074	1,343,581	18,230	1,361,811	△ 21,480	1,340,331
江 東	91,089.72	5.154%	2,099,257	46,668.40	6.100%	260,431	2,359,688	22,045	2,381,733	△ 114,675	2,267,058
品 川	73,359.14	4.151%	1,690,729	31,226.62	4.081%	174,232	1,864,961	25,514	1,890,475	△ 10,783	1,879,692
目 黒	53,215.60	3.011%	1,226,400	18,566.49	2.427%	103,617	1,330,017	35,079	1,365,096	14,586	1,379,682
大 田	129,931.91	7.352%	2,994,517	60,528.89	7.912%	337,792	3,332,309	20,087	3,352,396	△ 37,862	3,314,534
世田谷	176,779.74	10.003%	4,074,286	40,779.48	5.330%	227,557	4,301,843	206,873	4,508,716	10,202	4,518,918
渋谷	50,567.34	2.861%	1,165,304	45,883.11	5.997%	256,033	1,421,337	△ 122,494	1,298,843	20,361	1,319,204
中 野	56,655.16	3.206%	1,305,825	12,697.00	1.660%	70,871	1,376,696	54,275	1,430,971	29,391	1,460,362
杉 並	97,675.99	5.527%	2,251,183	23,744.25	3.104%	132,521	2,383,704	91,347	2,475,051	△ 17,366	2,457,685
豊 島	52,968.82	2.997%	1,220,697	29,262.37	3.825%	163,303	1,384,000	△ 52,507	1,331,493	2,229	1,333,722
北	64,275.89	3.637%	1,481,374	16,240.29	2.123%	90,639	1,572,013	49,531	1,621,544	△ 16,305	1,605,239
荒 川	41,119.22	2.327%	947,802	9,360.22	1.223%	52,214	1,000,016	29,556	1,029,572	21,575	1,051,147
板 橋	104,293.41	5.901%	2,403,515	28,972.55	3.787%	161,681	2,565,196	87,736	2,652,932	2,981	2,655,913
練 馬	128,637.82	7.279%	2,964,784	27,637.58	3.612%	154,209	3,118,993	119,128	3,238,121	△ 27,600	3,210,521
足 立	129,317.13	7.317%	2,980,261	39,722.07	5.192%	221,665	3,201,926	99,166	3,301,092	11,434	3,312,526
葛 飾	83,351.39	4.716%	1,920,857	22,286.15	2.913%	124,366	2,045,223	56,308	2,101,531	△ 8,260	2,093,271
江戸川	124,769.31	7.060%	2,875,583	36,378.67	4.755%	203,008	3,078,591	32,429	3,111,020	33,851	3,144,871
合 計	1,767,310.08	100.000%	40,730,643	765,069.28	100.000%	4,269,357	45,000,000	0	45,000,000	0	45,000,000